



「岐阜市川原町カフェ『川原町屋』」 撮影 | 星野宏

12月のCOC+事業進捗

COC+成果発表会開催

平成29年12月16日[土]に、岐阜大学でCOC+参加大学共通プログラムの成果発表会が開催されました。成果発表会では、各大学のCOC+プログラムに参加した学生が、その取り組みと学びを発表します。日本福祉大学からは、社会福祉学部3年の原奏恵[ハラカナエ]さんと、国際福祉開発学部3年の崔炯根[チェヒョンゲン]さんが発表しました。原さんは、COC+の活動に参加して、岐阜県で働く多くの方と交流をしてきました。今回の発表では、「私がCOC+の活動で得た財産」と題して、この1年半の間に取り組んできた様々な経験から、自分が何を大切にしているのかや、大学での福祉の学びはどんなところでも共通すると気づき、地

元で学びを活かして働きたいと語りました。崔さんは、夏に参加したひだホテルプラザでの「観光地域づくり人材育成プログラム」について、自分が何を学び得たのかを語りました。留学生ならではの視点から、観光や地域創生についても気づきを発表し、今後の自分の活動につなげていきたいと意気込みを述べました。二人の発表の様子は、オンラインで視聴いただけます。ぜひご覧ください。



【原奏恵さん】



【崔炯根さん】



仕事と家庭の両立を考える講座開催



平成29年12月14日[木]に、美浜キャンパスで「仕事と家庭の両立を考える講座」を開催しました。この講座は、岐阜県内で子育てをしながら仕事を続けている

卒業生3名をゲストに迎え、仕事と家庭について話を伺い、その両立について学生たちと一緒に考える企画です。講座の前半は、講師の方に、それぞれのお仕事や家庭の様子などを紹介いただきながら、会場から寄せられた質問を話題にして、両立に対して理解を深めていきました。後半は、少人数のグループに分かれ、講師の方を囲みながらのフリートーク交流会。前半よりも、より詳しいお話も伺うことができ、参加した学生からは、将来の働き方について考えるいい機会になったと声が聞こえました。

～参加学生の感想～

- ・育休の制度など、子育てしながら働くことができる環境も大切だと知ることができました。
- ・仕事だけではなく、家庭でのお話を伺うことができ、将来への目標が明確になりました。
- ・両立していくには、周囲の人の助けや職場環境が関わっていることがわかりました。

当日の詳細は、COC+の公式ブログでご覧いただけます。



【COC+通信ブログ】



イベント情報

福祉の事業所見学会



平成30年2月28日[水]に、岐阜県内の福祉関係事業所を訪問見学する企画が行われます。今回見学するのは2事業所。歴史ある岐阜市の街並みで、現代に必要な「本物の福祉」に取り組まれている社会福祉法人高佳会と障がいを抱える方、一人ひとりが社会の中で役割を持ち、その人らしく生きられることを目指し、地域と共に様々な活動をされている社会福祉法人いぶき福祉会です。地域に根ざし、地域の福祉を支えている両法人の現場をみて、その理念や運営、今後の方針などを事業所の魅力を実習とは違った視点で学びます。申し込みは申し込みのフォームから受付しております。



【申込フォーム】

第2回多職種連携現場体験会



平成30年3月27日[火]に、地方独立行政法人岐阜県総合医療センターと共催で、第2回多職種連携現場体験会を開催します。今回のテーマは、「重症心身障がい児と家族の支援」。センターで実際に支援したケースを元に、多学部の学生が集まり、子どもと家族に何ができるかを、それぞれの立場からカンファレンス形式で考えていくプログラムです。院内施設の見学もあり、多職種連携の現場を自分の目で見て、考えられる絶好の機会。第1回の参加学生は、多くの学びを持って帰ってもらえました。定員に制限があるため、早めに申込みください。詳細はブログでご覧頂けます。



【詳細ページ】

岐阜事業所取材企画



岐阜県内の様々な事業所を取材して、ガイドブックと一緒に作りませんか？高齢や障がい、医療から企業、NPOなど、岐阜県内の優良事業所を訪問し、職員の方のお話を伺い、現場を見て、その事業所の魅力を見つけて発信していきます。現在、取材学生の募集を行なっている先は、卒業生が多数在籍し、地域の生活を支える「コープぎふ」、高齢分野福祉法人で、働きやすい環境作りでは県内トップクラスの「大垣市社会福祉事業団」、創業100年を超える老舗福祉用具事業会社「美濃庄」、他にも金融や社協など幅広い分野の取材を企画しています。関心がある方や、他にも「こんな事業所に行ってみよう」などある方は、岐阜キャリア相談コーナーまでご連絡ください。
gifuinfo@ml.n-fukushi.ac.jp

岐阜県な人



『神戸俊弥さん』
社会福祉学部
2年生
下呂市出身

Q地元の魅力は？

「田舎で人が温かく、住みやすいところです。会えば必ず挨拶するし、情に溢れています。野生動物もたくさんいて、サルに30匹にらまれた時は、さすがに怖かったです。熊に遭遇した時は、休校になりました。でも事故も少なく安心安全です。夏は川で泳いだり、飛び込んだり、釣りをして遊びます。冬はゲレンデにすぐに行けるし、スノーボードも得意です。山も川も人もきれいです。」

Q大学生活はどうですか？

「毎日充実して楽しいです。新しい遊びを見つけては、仲間と楽しんでいます。好奇心があり、新しいことにチャレンジしたいので、講義にも積極的に参加し、仲間を増やしていきたいです。目標は、日福の学生全員と友達になることです！勉強については、もっと『ふくし』への関心を高めていきたいです。3年生からは今よりも専門的な勉強をして、社会福祉士は必ず取得します。」

Q将来の夢は？

「人と関わる仕事がしたいです。私は田舎が好きで、企画や政策を考える事が好きなので、地域活性や地方創生にも興味があります。今年の夏は、サマースクールに参加して、みんなで岐阜の地域作りについて考えたことはとても勉強になり、いい経験をすることができました。」



<東海キャンパス>キャリア指導室内
火・水・木曜日 10:00~18:00
[キャンパス閉鎖期間除く]
電話：0562-39-3811
担当：就業支援コーディネータ：星野

<美浜キャンパス>全学教育センター内
月~金曜日 9:30~17:30
[キャンパス閉鎖期間除く]
電話：0569-87-2321
担当：就業支援コーディネータ：小西

岐阜での就職に関する情報が満載

『岐阜キャリア相談コーナー』